

<防草対策商品>

100%自然素材／火山噴出物シラス活用

(禁無断転載)

発行:2015.11.12

改訂:2016.10.12

雑 草 生 ら ず
赤シラス

施工要領書

**施工前には必ず、本要領書をしっかりと読み、
下記担当者による電話施工サポートをお受けください。**

高千穂シラス株式会社

電話：0120-011-535

E mail：sekou@takachiho-corp.co.jp

目 次

◆はじめに	2
◆施工前の準備	2
◆下地処理	3
□ 盛土工法	
□ 根切り工法	
◆施工前の注意事項	3
◆施工	4
□重ね塗り方法	
□直塗り方法 □攪拌塗り方法	5
□施工後の養生	6
□注意事項	
◆その他の注意事項	7

はじめに

「赤シラス」は、九州南部に広く分布する火山噴出物“シラス”を精製・加工した雑草防止材です。農薬等により植物の育成を妨げるものではなく、栄養分がないから植物が育たないといった土の特長を活かし開発しました。

100%自然素材のため、安全安心の雑草防止材としてお使い頂けます。

施工者の皆様へ

初めて施工される方で、本施工要領書を読んで不明な点や疑問点のある方は、お問合せいただければ専任の施工サポートスタッフが分かりやすくご説明いたします。

施工前の準備

事前に準備するもの

- ①散水ホース（シャワーノズル付）又は、ジョーロ
- ②金ゴテ又は木ゴテ
- ③定木又は垂直な板等
- ④立ち鎌（かき板）又は角型スコップ
- ⑤雑草ホーク（雑草除去用）



シャワーノズル



ジョーロ



金ゴテ



定木



立ち鎌



角型スコップ



雑草ホーク

下地処理 [基本下地:土]

下地処理方法は2種類です。

□盛土工法

①雑草を除草ホーク(写真 1)等で根から抜き、立ち鎌(写真 2)で除去し、地盤を平らにしてください(立ち鎌、角型スコップ等)。(凹凸を平坦にならします。) (図 1)

②現状地盤より高さ3cm盛りますので、必要に応じて表層をすきとってください。

(残土の処理方法は各自治体にお聞きください。例)横浜市⇒粗大ゴミ)

③施工する廻りの部分(末端部)の方法は2種類あります。

i 端の部分を斜めに施工。(図 2)

ii はじめにレンガ等(疑似杭)で囲った中に施工。(図 3)



写真 1



写真 2

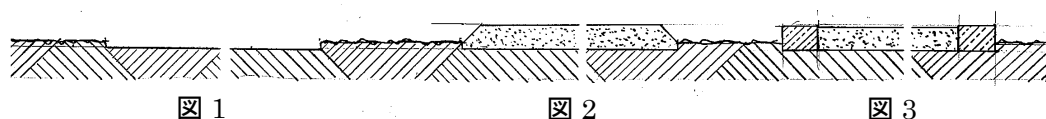


図 1

図 2

図 3

□根切り工法

① 塗厚は3cmになるため、施工する部分の土を深さ3cm鋤取ります(根切り作業)。

② 深さは一定になるように平らに整地してください(根切り作業)。(図 4)

③ 取り除いた残土は、場内処理(敷地内で利用)するか、廃棄処分を行ってください。

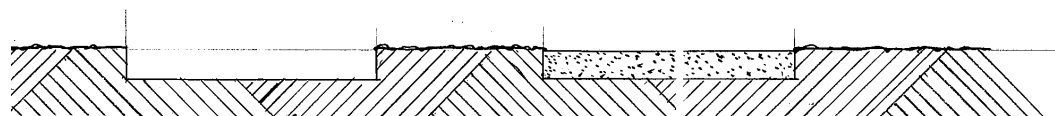


図 4

施工前の注意事項 ※この頁は施工前に必ずお読みください

□雨の日は、施工を避けてください。

□寒冷期は、気温 5℃以下では施工を避けてください。

5℃以下で施工した場合、凍結融解などにより硬化せず、赤シラスが剥がれることがあります。暖かい日中を選んで施工するようにしてください。

□48時間以内に降雨が予想されるときは、施工を避けてください。やむを得ず施工する場合は雨養生を行って下さい。雨養生をそのままにしておくと、乾きの妨げとなりますので、降雨が止んだら速やかに養生をはがしてください。

□本材は既調合のため、セメント砂等、他の材料を追加混合しないで下さい。

□本材の保管の際は、破袋や荷崩れ、降雨による水漏れ等にご注意ください。また、直置きは避け、下部にパレットやダンボール等を敷いてください。

施工

この材料は、基準塗厚 3cm。1袋あたりの施工面積 0.3㎡です。

施工方法は3種類です。

- ・重ね塗り方法：施工者は、DIYで施工する方（敷地内で施工範囲が狭い場合）
下地は、盛土工法、根切り工法。
- ・直塗り方法：施工者は、造園、左官等の専門職向き。（敷地内で施工範囲が広い場合）
下地は、盛土工法、根切り工法。
- ・攪拌塗り方法：施工者は、造園、左官等の専門職向き。（公園路地・散策路）
下地は、根切り工法

□重ね塗り方法

- ① 下地の土に散水ホースのシャワー(又はジョーロ)を使い、たっぷり水打ちを行います。
(水の吸込みが無くなるくらいまで水を掛けます)
- ② 塗厚 3cm ですが、一層目 1.5cm の高さに材料をコテで平滑に敷き詰めます。
- ③ 散水ホースのシャワー(又は、ジョーロ)を使い、表面が流れない程度に最下層までたっぷり散水を行い浸透させます(1回で行わずに数回に分けて行います*)。
- ④ 表面に水が無くなりましたら、二層目 1.5cm の高さに材料を敷き、仕上りの高さ 3cm にします。平らに均すのに小刻みに定木摺りします。均す際に骨材が露出し易いので押さえながらしてください。それでも骨材が露出した場合は取り除き一層目に使用してください。そのままだと表情が変わりますので。
- ⑤ 散水ホースのシャワー(又はジョーロ)を使い、表面が流れない程度に最下層までたっぷり散水を行い浸透させます(1回で行わずに数回に分けて行います*)。

※水の浸透確認は釘や細い棒を刺して水が下まで浸透しているかを確認してください。
穴跡は鍬で均してください。



□直塗り方法

- ①下地の土に散水ホースのシャワーを使い、たっぷり水打ちを行います。
(水の吸込みが無くなるくらいまで水を掛けます)
- ②塗厚 3cmですので高さに材料を平滑に敷き詰めます。コテで材料を送る時や定木摺り時に骨材が露出し易いので押さえながら小刻みに均してください。
- ③施工は手が届く範囲して塗継目は垂直してください。塗継目が目立つ場合は篩で材料を篩って粉体をふりかけてください。
- ④最初散水ホースのシャワーを使い、表面が均一に浸みた時点でコテにてしっかり押さえてください。＜注意＞コテ摺りすると表情が変わりますのでしないでください。
- ⑤再度散水ホースのシャワーを使い、表面が流れない程度に最下層までたっぷり散水を行い浸透させます(1回で行わずに数回に分けて行います※)。

※水の浸透確認は釘や細い棒を刺して水が下まで浸透しているかを確認してください。
穴跡は鏝で均してください。

※施工時に風が強い場合は粉塵が飛散いたしますので重ね塗り方法で施工してください。

□攪拌塗り方法

- ①下地の土に散水ホースのシャワー(又はジョーロ)を使い、たっぷり水打ちを行います。
(水の吸込みが無くなるくらいまで水を掛けます)
- ②基準加水量(**約 3.5 ㍲/袋**)のきれいな練り水を用意してください。
※加水量は、天候により多少の上下が生じる場合があります。
- ③攪拌機にて攪拌致します。
- ④3cm+0.5cm厚に敷き詰めコテで押さえながら平滑にしていきます。
- ⑤押さえる際に水気が足りない場合は霧吹きを使い水気を足しコテで押さえてください。
(ジョーロ等使用した場合、水気が多すぎ、軟らかく仕上がるため霧吹きを使用してください)

※造園・左官等の専門職に適しています。



※重ね塗り方法及び直塗り方法と攪拌塗り方法では表情が違います。

※施工時に風が予想される場合に適した施工方法です。

□施工後の養生

防草土が固まるまで立ち入らないでください。立ち入らない期間は2日間を目処に行ってください。冬季、寒冷地では凍結の恐れがありますので完成後断熱シート・マット等で養生をしてください。

□注意事項

注1) 樹木周りについては、樹冠面積相当分をあげ、施工を行ってください。



注2) 日陰や植物等が繁殖している環境に施工する場合、藻が発生する場合がございますのでご了承ください。



◇その他注意事項

本品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。
指定の用途、施工方法以外でご使用される場合は保証しかねます。

[取扱い上の注意]

本材は自然素材である火山噴出物「シラス」を使用した精製品です。アルカリ性なので衣類や肌に付着しても無害ですが、取扱い時には以下の事項に注意してください。

- 本品は食べ物ではありません。口や鼻に入れないようにしてください。
- 万一、本品が目や呼吸器等に入った場合には専門医の診断を受け、適切な処置をしてください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 本品は 180 日以内のご使用が最適です。

[使用上の注意]

- 施工方法を守り、施工を行ってください。
- 他の材料を追加混合しないでください。
- 天然の原料を使用しているため、色のバラツキなどが起こることがあります。
- 配送や保管時には、水濡れなどにご注意ください。廃棄する際には産業廃棄物として適切な処置をしてください。
- 空風袋の処理はそのまま燃えるゴミで処分できますが、中袋が PE（ポリエチレン）なので地域により処分できない場合がありますので、各自治体に確認が必要です。